

通知表所見に関する教員の意識 －アンケートの自由記述から－

Consciousness of Teachers about the School Report Card Comments - From the Free Description of the Questionnaire -

山崎 宣次^{*1}, 掛川 淳一^{*2}, 小川 修史^{*2},
加藤 直樹^{*3}, 横山 隆光^{*4} 興戸 律子^{*3}, 森広 浩一郎^{*2}
Senji YAMAZAKI^{*1}, Junichi KAKEGAWA^{*2}, Hisashi OGAWA^{*2},
Naoki KATO^{*3}, Takamitsu YOKOYAMA^{*4}, Ritsuko OKIDO^{*3}, Koichiro MORIHIRO^{*2}
^{*1} 中部学院大学, ^{*2} 兵庫教育大学, ^{*3} 岐阜大学, ^{*4} 岐阜女子大学
^{*1}Chubu Gakuin University, ^{*2}Hyogo University of Teacher Education,
^{*3}Gifu University, ^{*4}Gifu Women's University
Email: yamazaki-s@chubu-gu.ac.jp

あらまし：通知表の所見は、経験があっても現場の教員にとって非常に負担の大きい校務である。そこで筆者らは所見記述支援を目指した研究を進めてきた。特に今回は、教員が通知表の所見に対してどのような意識であるかについて全国的な調査を実施し、その中の自由記述回答についてテキストマイニング手法を用いて分析した。その結果、全国的にも所見という短い文章に児童の様子をいかに適切に表現し保護者に伝えることが難しく、負担に感じているかが改めて分かった。

キーワード：小学校、通知表、意識調査、テキストマイニング、教師教育

1. はじめに

通知表の所見記述は小学校における校務の中で最も負担感が高い⁽¹⁾。経験を積み、担任として何度も所見を記述していると、ある程度の所見は書けるようになる。しかし、少しでも児童の成長を促すために、どのような表現をしたらよいかを悩んでいる教員は、経験豊富な教員ほど多い⁽²⁾。そこで、著者らは教員が所見記述をするための支援を目指し所見データの分析を進めてきた^{(3)～(9)}。

また、今まで筆者らは小学校の教員が通知表の所見に対してどのように考えているかについてのアンケート調査を実施してきた。しかし、限られた地域の教員を対象にしていた。そこで、今回、全国の小学校教員 500 名を対象に WEB アンケート調査を実施した。そのアンケートの中で、通知表の所見についての自由記述の回答をテキストマイニングの手法を用いて分析し、教員の通知表所見に対する意識を分析した結果を報告する。

2. アンケートの概要と分析方法

2.1 アンケートの概要

今回の WEB アンケートは業者に委託して実施した。その概要は以下のである。

- ・趣旨：通知表所見記述について困っていることや記述の際に参考になっているものなどを調査し、今後の通知表記述支援の参考にする。
- ・実施時期：平成 27 年 10 月
- ・対象人数：500 名（全ての都道府県）
- ・対象者：小学校教職員（講師・管理職・養護教諭等も含む）

2.2. 分析方法

今回のアンケート調査の中で「通知表の所見について、あなたが思っていることを書いてください。」という設問で自由記述による回答を得た。この回答について KH_Coder を使って全体的な傾向を分析した。さらに、小川手法⁽¹⁰⁾を用いて教職経験年数の違いや管理職教員と非管理職教員の違い等を比較分析した。

3. 分析結果

全体的には、「保護者」「伝える」「難しい」「良い」「表現」「負担」「大変」「必要」などの単語が多く抽出され、いかに保護者に児童の良い面を伝えることが難しく大変であり、負担に感じているかがうかがわれる。

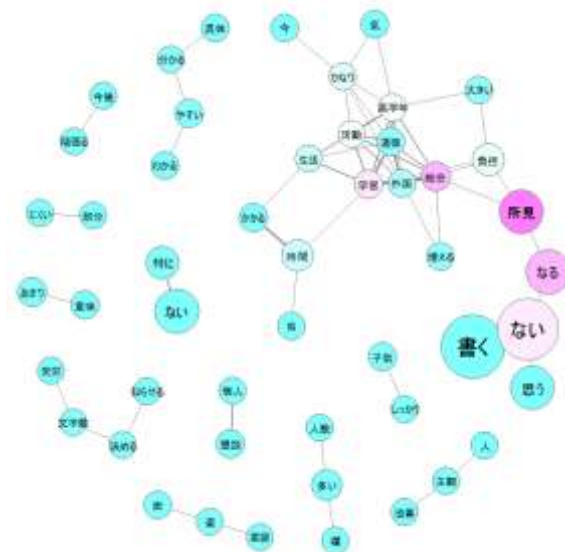


図 1 全体の共起ネットワーク

教職経験年数による比較では、20年以上経験がある教員は、「必要」「難しい」「大変」「伝わる」「表現」「大切」「短い」「評価」などの単語が10年未満の教員より多く抽出され、経験があるだけに短い所見の文章にいかにか児童の様子を表現することの難しさを感じていることがうかがわれる。

また、管理職教員と非管理職教員では、非管理職教員は「懇談」といった単語が管理職教員より多く抽出され、懇談面談などで保護者と直接話をする方が、所見より意義があると感じている者が多かった。

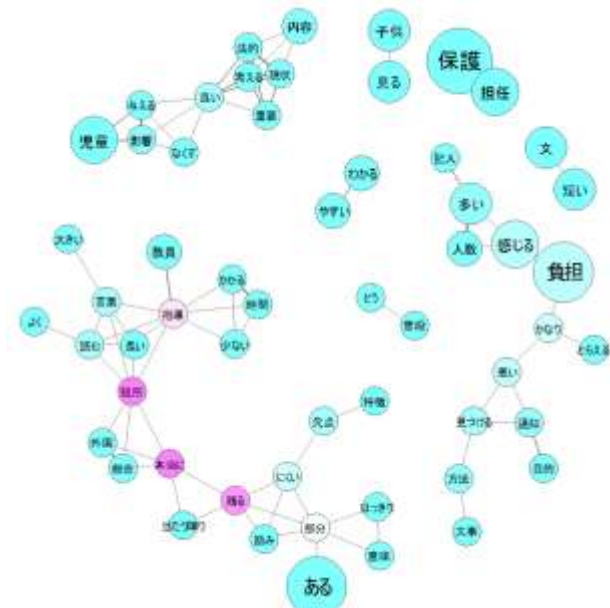


図 2 管理職の共起ネットワーク

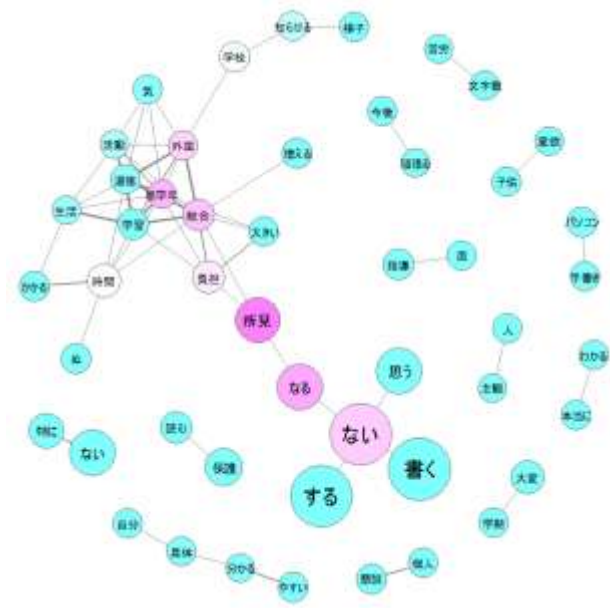


図 3 非管理職の共起ネットワーク

4. まとめ

今回のアンケートでは、通知表の所見に対して全国の小学校教員に様々な考えを自由記述にて回答してもらった。長所だけでなく、良くない面も記述の方が良いなどといった意見もあったが、ほとんどの教職員はいかにか児童の様子を適切に、しかも、所見という短い文章で保護者に伝えることの難しさに負担を感じていることが改めて分かった。これらの結果を活かし、今後、通知表の所見記述支援に向けた取り組みをしていきたい。

謝 辞

本研究はJSPS 科研費 26350350 の助成を受けたものです。

参考文献

- (1) 山崎宣次:小学校における校務の負担感. 大阪成蹊短期大学研究紀要, 第 50 巻, pp.39-52 (2013a)
- (2) 山崎宣次, 森広浩一郎, 掛川淳一, 中間玲子, 小川修史, 加藤直樹, 日比光治, 興戸律子: “小学校における通知表等所見の現状～教師のキャリア形成として～”, 日本教育情報学会 第 29 回年会, 大会論文集, pp.296-297 (2013b)
- (3) 山崎宣次, 森広浩一郎, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 日比光治, 興戸律子: “小学校通知表所見のテキストマイニング”, 日本教育工学会第 29 回全国大会, 大会論文集, pp.339-340 (2013c)
- (4) 山崎宣次, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 日比光治, 興戸律子, 森広浩一郎: “テキストマイニングによる通知表所見の比較”, 日本教育工学会 研究報告集, JSET 14-1, pp.33-40 (2014a)
- (5) 山崎宣次, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 日比光治, 興戸律子, 森広浩一郎: “特徴単語による小学校通知表所見の教員間比較”, 教育システム情報学会研究報告, vol.28, no.6, pp.207-214 (2014b)
- (6) 山崎宣次, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 興戸律子, 森広浩一郎: “小学校通知表所見の言語分析による教員の力量形成について～所見記述の一般的傾向と課題～”, 日本教育情報学会 第 30 回年会論文集, pp.178-179 (2014c)
- (7) 山崎宣次, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 興戸律子, 森広浩一郎: “特徴単語を用いた記述支援に向けた小学校通知表所見の分析”, 日本教育情報学会学会誌, 第 30 巻, 第 3 号, pp.23-36 (2015a)
- (8) 山崎宣次, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 興戸律子, 森広浩一郎: “校務の情報化としての小学校通知表所見記述支援”, 日本教育情報学会 第 31 回年会論文集, pp.304-305 (2015b)
- (9) 山崎宣次, 掛川淳一, 小川修史, 加藤直樹, 興戸律子, 森広浩一郎: “小学校通知表所見の特徴単語抽出のためのテキストマイニング手法の比較”, 日本教育情報学会学会誌, 第 31 巻, 第 2 号, pp.37-48 (2015c)
- (10) 小川修史, 田中昌史, 掛川淳一, 森広浩一郎: “児童の変容把握を目的とした小規模校におけるテキストマイニングの有用性に関する検討”, 日本教育情報学会学会誌, 第 27 巻, 第 3 号, pp.3-14 (2012)